

Ikina marathon
ゆめしま海道いきなマラソン

**第34回 ゆめしま海道
いきなマラソン大会開催決定!!**

第34回ゆめしま海道いきなマラソン大会が、3月5日（日）3年振りに開催されることとなりました。

「岩城橋」も開通し、今大会からハーフマラソンが新たなコースでのスタートとなります。詳細は、大会実行委員会から随時お知らせします。

ゆめしま海道いきなマラソン実行委員会
☎ 77-2128



魚島俳歌柳会【魚島】

3つの大切なこと

英会話教室

こんにちは皆さん、お元気ですか？最近、コロナの影響でためらっていた車の免許をとるために、教習所へ通い始めました。偶然にも、弓削のALTのジョージも教習所に通い始めていたので、その行き帰りに、将来について色々話をしています。

その会話の中で、ジョージに私が外国人として日本に住むのに大切なことを話したので、みなさんにも私の考えを紹介したいと思います。

大切なことは3つあると思います。コミュニケーション、移動の自由、地域性に合うことです。日本に住んではぐは、この3つのことが足りないうえ、言

語力も不足しています。

移動の自由は、安全や自信にも関係すると思います。人に頼ることなく、自由に行き来できることで、自立心や責任感を持つことができると思います。そう思ったので、教習所に通い始めました。

この3つは、当たり前だと思われるかもしれません、コロナのパンデミック（世界的大流行）の時に、深く考えさせられました。もし、海外移住を考えている人がいれば、参考にしてみてください。海外に住むという経験は、非常にやりがいのあるものですが、いろいろな意味で困難もあります。このよう

な問題に直面した時には、決して自分一人ではないということを覚えておくことが重要です。

また今度ね
ジョン



今月の担当 ALT
ペイス・ジョナサン(生名)

かみじま郷土話 16

生名島・岩城島の塩輸送

京都にある石清水八幡宮は、中世の伊予国で最も多くの荘園を有しており、上島町の島々では生名島や岩城島、佐島がその領有となっていました。生名島・岩城島には「禄塩」が課せられていたことから、荘園領主から塩の生産が期待されていたことがわかります。

文安2年(1445年)の1年間に、兵庫北関(現在の神戸港)に入港した全ての船の船籍地、積載品目、積載量、入籍月日、関税額、船頭名、問丸名が詳しく記載されている『兵庫北関入船納帳』によると、伊予国船籍の船は、弓削船籍が26回、岩城船

籍が6回、伯方船籍が4回入船しています。積み荷のほとんどは「備後」(備後塩=塩のこと)でした。

生名島の名前はありませんが、岩城島と同じく塩の生産を行っていたことから、岩城船籍に乗組員が居り、生名島で生産した塩を運び出していたとみられています。

荘園の年貢は、梶取と呼ばれる百姓から選ばれた者が輸送しましたが、やがては同じ人物が輸送に当たっていることから、専門的な海運業者として成長したとみられます。この頃になると、船頭と呼ばれる人物が塩の輸送を行っていました。また、芸予諸

島に籍のある船は同じ日に入港していることなどから、地域的な結束を強めた船頭たちによって航海の安全のために船団を組んで行動していました。

曾根大地
教育課



問丸・商品物資の管理・中継取引業者

ゆめしまサイクル2023、3/19(日)開催します！

YUMESHIMACYCLE2023



“Gourmet & Cruising Ride”

チャーター船と町の特産グルメで大人も子どももゆめしま海道を満喫！

お問い合わせ ☎ 0897-72-9277

上島町観光協会

Kamijima Tourism Association

<http://www.kamijima.info>